



10月

高尾山花だより ～その7～

すがすがしいこの季節、秋の高尾山を花を見ながら歩いてみませんか！汗をかかずに快適なハイキングが楽しめます。かつて高野山では竹でほうきを作ると、タケノコや竹細工等で儲けることを考えてしまうので、対策としてコウヤボウキでほうきを作ったといいます。そこからこの名が付いたそうです！

ラッパのように上向きに咲いているのがリンドウ。秋を代表するきれいな青色の花。センブリは民間療法の胃薬として、ケンノショウコとならんで良く知られています。1000回煎じても苦く、薬効があるといわれています。紫色のムラサキセンブリもあり。黄色い小さな花をいっぱい付けて高尾山のあちこちに咲いているのがアキノキリンソウ。

(文・写真 遠藤進)



コウヤボウキ(高野簫)
枝の先端に一輪の花を咲かせます



センブリ(千振)
紫色のスジがある白色の花が咲きます



リンドウ(竜胆)
鐘状の花が上向きに咲いています

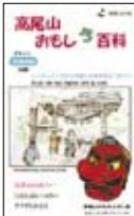


アキノキリンソウ(秋の麒麟草)
上から下まで小さな花をいっぱい咲かせます

高尾山こぼれ話

空に浮かぶ神々の住む山「富士山」。そこから連なる山々の尻尾の山ということで高尾山の名が付いたといわれています。京都からの平家の落ち武者が八王子に住むようになり、高尾山になったとする説も。京都には高尾山と高雄山という山があります。タカオモミジは高雄山の方から。ちなみに日本全国に高尾山が40以上あります。

「高尾山おもしろ百科」より





11月

高尾山花だより ～その8～

この時期になると朝夕はめつきり寒くなり、高尾山にきれいな実が目立ち始めます。さまざまな色や形の実を楽しみながらハイキングしてみましょう！

5つに裂けた果皮から実をのぞかせているのがツリバナの実です。

赤い実と青い葉のコントラストがきれいなのがアオキ。江戸時代にオランダの医者がメスの木を持ち帰ったものの、実がならなかつたという話があります。オスの木を持って行かなかったので受粉しなかつたせいとか。

葉の真ん中に濃い青色の実をつけているのがハナイカダ。ハナイカダもアオキと同じようにメスとオスの木があります。

紫色のきれいな実をつけるコムラサキにも注目！

(文・写真 遠藤進)



ツリバナ(吊花)
花が吊り下がって咲くところから命名



ハナイカダ(花筏)
筏の上に人が乗っているように見える



アオキ(青木)
葉も枝も青いのでこの名がついた



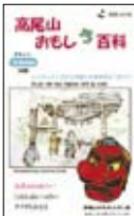
コムラサキ(小紫)
紫の小さな実をいっぱいつけている

高尾山こぼれ話

高尾山の登山人口は世界一だといわれています。しかし、報道を見ると250万から420万までとバラバラ。高尾山には登り口がいっぱいあり、歩いて登る人もいます。電車の乗降数などから推測していると思われるが、正確な数の把握は難しそうですね。高尾山口駅の乗降客は1日約1万とか。

ちなみに富士山の夏期登山者数は約25万といわれています。

「高尾山おもしろ百科」より





12月

高尾山花だより ～その9～

この季節は花がほとんど咲いていませんが、汗をかくこともなく快適なハイキングができます。花の他にも、高尾山にはいろいろな華があります。その中から二つ紹介したいと思います。

一つは、シモバシラの花の茎から地中の水分が上がってできる氷花。八王子市内の気温が0度近くになると、もみじ台、一丁平などの北巻道などで、写真のような自然の芸術作品が楽しめます。

もう一つの楽しみはダイヤモンド富士です。高尾山の頂上から冬至の前後に見られます。ケーブルは運転していますが、暗いので下山には懐中電灯が必須。日が短時間で沈むため事前にテスト撮影をしておいた方がいいでしょう。

(文・写真 遠藤進 都丸次郎)



クロスのダイヤモンド富士
クロスフィルタ使用、ワイドで最小絞りでもクロスができる



シモバシラのアップ
いい形のものを一つ選んで大きく写す



丸のダイヤモンド富士
クロスフィルタを使わないで、望遠で写すと太陽が丸くなる

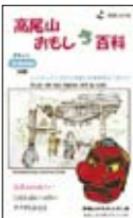


シモバシラがいっぱい
いろいろな形の造形を楽しめます

ダイヤモンド富士の写し方

マニュアルでピンと露出の調節ができるカメラを使用して事前に市内でテスト撮影した方が失敗を防げます。あつという間に日が沈むのでテスト撮影は必須です。ダイヤモンド富士は八王子市内のあちこちで見られます。私は大和田小近くの歩道橋などで撮影しています。ここからだと1月の5日頃に富士山の真上に日が沈みます。富士見町などでも撮影可能。

「高尾山おもしろ百科」参考





1月

高尾山花だより ～その10～

花の他にも、高尾山にはいろいろな華があると、ダイヤモンド富士を前回紹介しました。この季節は空気が澄んでいるので、冠雪した富士山が良く見えます。

テレビロケやガイドで登った時に、誰もが富士山が見えるかなと尋ねます。見えた時には、運がいいですねと答えます。見えない時は、晴れいたらこうなりますと写真を見せます。

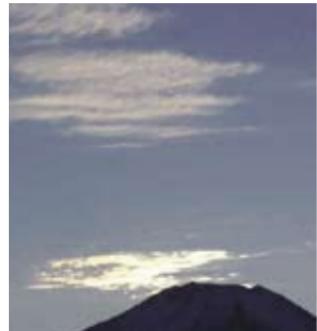
富士山に傘状の雲が掛かっている時は、傑作を寫す絶好のチャンス。ドイツ人の友人が両親を連れて来た際、この雲が出て大喜びでした。外国人にも富士山は大人気です。

海外からの帰国時、飛行機から富士山が見えると日本に帰ってきたなど、いつもほっとするのは私だけでしょうか。

(文・写真 遠藤進 都丸次郎)



雪の翌日、高尾山から撮影
高尾山でも雪のある時は冬山装備で登りましょう



雲の位置がポイント
雲が変化するのでいいタイミングで写す



傘雲の富士山
この雲が出ると翌日は天気が悪くなる

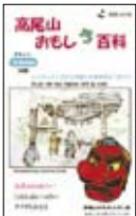


飛行機からの富士山
窓にカメラを近づけて撮ると影が写らない

高尾山こぼれ話

ダイヤモンド富士は有名ですが、もう1つパール富士というのをご存知ですか。日が沈んだ後か日が出る前に富士山の上に月が輝いている光景がパール富士です。私は偶然、高尾山以外で目撃したが、高尾山でも見られるようです。ダイヤモンド富士と違って月の位置は一日で変化。天文に詳しい人に日時を聞いて、撮影に挑戦してみてはいかがでしょう！

「高尾山おもしろ百科」参考





2月

高尾山花だより ～その11～

春はまだ先ですが、日だまりには少しづつ花が咲き始めています。裏高尾や高尾山の南斜面には花がちらほら！

早い春の訪れを告げているホトケノザ。花の下に仏の蓮座に似た葉があるのでこの名がついています。花が飛び出しているのがおもしろい。

姫が踊っているように見えるのがヒメオドリコソウ。

小さく可愛らしい青い花はオオイヌノフグリ。初春から日の当たるところに群生しています。

ウメは一輪でも綺麗ですが、白い花の中に赤い花が混ざっている風景もすばらしい。小仏川や小下沢入口で見られます。

ウメはサクラと違い、いろいろな種類が次々に咲くので長い間楽しめます。

(文・写真 遠藤進)



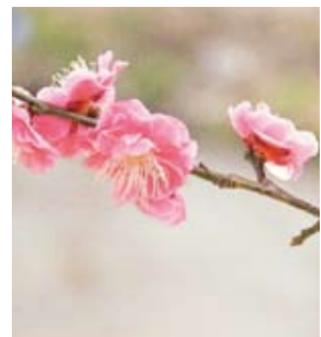
ホトケノザ(仮の座)
日影のバス停近くにちらほら



オオイヌノフグリ(大犬の陰嚢)
小下沢入口に群生しています



ヒメオドリコソウ(姫踊り子草)
裏高尾道沿いに咲いています

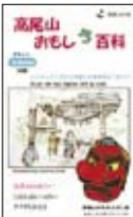


ウメ(梅)
裏高尾は梅の名所です

高尾山こぼれ話

高尾山の1号路の少し手前、高尾橋から薬王院の山門前までが都道189号線。1号路はスタート地点から石畳で、都電の敷石をリサイクル利用しています。高尾山以外でも、各地でリサイクル品として利用されているようです。都電ではありませんが八王子市並木町の長安寺では、甲州街道の市電の敷石がリサイクルされています。

「高尾山おもしろ百科」より





3月

高尾山花だより ～その12～

いよいよ待ちに待った春。花がいっせいに咲き始める、心躍る季節です。

高尾山の春の花といえば、日影沢のハナネコノメが有名です。木道の下のあたりに咲いています。この時期、写真を写す人がいっぱい。小下沢の沢沿いのあちこちにも咲いています。こちらの方人が少なく余裕をもって撮影できます。

地味な色で魚の骨のような花がコチャルメルソウ。花の下に短い枝（花柄）があるのがアブラチャン。似た花で木に直接花が付いているのがダンコウバイ。

梅の木の民家の裏にカタクリが群生しています。この季節民家では公開してくれています。同じ場所で約2週間後にヤマフキソウが群生して咲きます。

（文・写真 遠藤進 佐々木久）



ハナネコノメ（花猫の目）
日影沢では木道の下以外では咲いていない



アブラチャン（油瀝青）
昔、実から油を取っていた



コチャルメルソウ（小硝响草）
実は屋台のラーメンの笛（チャルメラ）に似ている

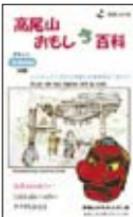


カタクリ（片栗）
昔、根からカタクリを取っていた

高尾山こぼれ話

高尾山薬王院有喜寺の本尊飯綱権現はカラス天狗の顔をしています。雑誌やテレビなどでは時々見かけることがありますね。高尾山以外では人の顔をしている本尊しか見たことがなかったのですが、最近南房総のいすみ市の飯綱寺の本尊もかならず天狗の顔であることを知りました。薬王院とおなじ飯綱権現が本尊だからのようです。複製品が持めるらしい。

「高尾山おもしろ百科」より



- * 自費出版デジタルから無料でダウンロードできます
- * アマゾンから紙の本が購入できます



自費出版と海外旅行のノウハウ本

高尾山花だより！ 創刊号

2018年8月10日 初版

著者 遠藤 進

編集行 高尾山の花名さがし隊

s_endo8@yahoo.co.jp ご感想、ご意見はこちらにお願いします
<http://www.geocities.jp/komaharam/Takaomain.htm>
 ◎本内容は著作権法第17条により無断で複製、複写を禁じます

発売元 摺籃社

〒192-0056 東京都八王子市追分町10-4-101
 株清水工房内 TEL 042-620-2615
<http://www.simizukobo.com/>

ISBN978-4-89708-403-9 C0045 亂丁・落丁本はお取替えいたします

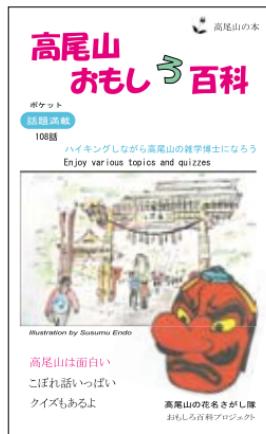
ISBN978-4-89708-403-9
C0045 ¥100E

定価 本体100円+税

9784897084039

搖籃社

高尾山のこぼれ話と花図鑑



高尾山の 花名さがし



八王子城の小説



定価 本体 952 円+税

定価 本体 952 円+税

定価 本体 1000 円+税

*八王子市内の書店で販売中

*自費出版と八王子の本なら搖籃社におまかせ